

第3回ユースオリンピック

10月6日から18日までブエノスアイレス(アルゼンチン)で開催された第3回ユースオリンピック競技大会に、JOCエリートアカデミーから鏡優翔さんと尾崎野乃香さん(レスリング)、張本智和君(卓球)、高木葵さん(ライフル射撃)が日本代表選手団の一員として出場しました。この4名以外に、2017年度修了生の平野美宇さん(卓球)が出場しました。

大会に先立って日本で行われた結団式で張本君が主将として日本選手団を代表して決意表明を行い、「私たちは第3回ユースオリンピック競技大会の日本代表選手団に選ばれたことを誇りとし、チームジャパンとしての自覚と責任を持ち、大会に臨みます。競技でベストを尽くすだけでなく、参加各国・地域の選手と交流し、国際親善に努めます。また、2020年に開催される東京オリンピックのホスト国代表選手として、行動規範を遵守いたします。そして、日々支えてくださる方々への感謝の気持ちを胸に、ひとりひとりが日ごろの努力を存分に発揮し、全力で今大会に挑むことを誓います」と力強く宣誓しました。

大会の開会式では、日本選手団の旗手として鏡さんが日章旗を掲げて行進しました。



【主将の張本君(左)と旗手を務める鏡さん(右)】

【競技成績】

競技	期	出場者	種目	順位
レスリング	9期生	鏡 優翔	女子73kg級	3位
	11期生	尾崎 野乃香	女子57kg級	優勝
卓球	6期生	平野 美宇	女子シングルス	2位
			混合団体	2位
	9期生	張本 智和	男子シングルス	2位
			混合団体	2位
ライフル射撃	11期生	高木 葵	女子10mエアライフル	15位
			混合団体	11位

【レスリング】

鏡さんは73kg級に出場し、予選リーグの初戦で、パンアメリカン・カデット選手権で優勝した、リーチの長いミライミス・M・ポトリエ選手(キューバ)と戦いました。第1ピリオドは1-0とリードしましたが、第2ピリオドに逆転され1-4で敗れました。しかし、3位決定戦では世界カデット選手権で勝利を収めているクセニヤ・ジブク選手(ベラルーシ)との対戦して勝利、銅メダルを獲得しました。

57kg級に出場した尾崎さんは2017年世界カデット選手権56kg級3位のプライバス・アナスタシア選手(ドイツ)にも勝利し、4戦全勝で決勝を迎えました。決勝は世界カデット選手権決勝の再戦となり、スゼル・A・ヘラ選手(ハンガリー)に10-0のテクニカルフォールで勝ち、金メダルを獲得しました。



【鏡さん(左:銅メダル)と尾崎さん(右:金メダル)】

【卓球】

張本君は、男子シングルス予選リーグを全勝で勝ち進み、決勝トーナメントへ進みました。準決勝ではゲームカウント3対1から連取されて3対3となりましたが、最後のゲームを11対6で取り、決勝に進出しました。決勝は、昨年の世界選手権の対戦で勝利を収めている中国の王楚欽選手との1戦となりました。第1ゲームを取られ、第2ゲームは取り返しましたが、その後は押し切られてゲームカウント4対1となり、優勝はなりませんでした。

団体戦は32チームがそれぞれ4チームに分かれてリーグ戦を行い、各リーグ上位2チームによる決勝トーナメントという形式で実施されました。日本チームは予選リーグを3戦全勝で勝ち上がり、その後も順当に勝ち進んで決勝に進出しました。決勝は男女シングルス同様、中国チームとの対戦となりました。女子シングルスで平野さんがあと1ポイントのところまで孫穎莎選手を追い詰めましたが、勝ちきれず2対3で惜敗しました。続く張本君は、男子シングルス決勝で敗れた王楚欽選手に3対1で勝利し、男子シングルの借りを返す形となりました。最終戦の混合ダブルスが勝敗の行方を決める形となりましたが、ゲームカウント1対3で惜しくも敗れ、目標の金メダル獲得はなりませんでした。



【混合団体決勝トーナメント1回戦での選手紹介】

【ライフル射撃】

エアライフル10m個人に高木さんが出場しましたが、国際大会の経験の少ない高木さんにとっては、予想以上のプレッシャーの中での競技となり、予選15位(612点)で決勝進出を逃しました。

一方、混合団体ではドイツの男子選手とペアを組んで出場し、予選を出場20チーム中7位で通過しました。16チームによる決勝トーナメント1回戦ではメキシコと対戦し、後半にリードされ10対7で敗退し、ベスト8進出はなりませんでした。

ユースオリンピックは、JOCエリートアカデミー年代で経験できる唯一の総合競技大会であり、実際のオリンピックを疑似体験できる場でもあります。その意味でJOCエリートアカデミーにとって最も重要な大会です。出場したアカデミー生も口々に「この経験をオリンピックに活かしたい」と話していました。主将を務めた張本君と旗手を務めた鏡さんにとって、プレッシャーは予想以上であったとのことでした。目標であった金メダル獲得にはなりませんでしたが、次への大きな飛躍につながることを期待しています。

また、参加したアカデミー生は教育プログラムへの参加や選手村での生活を通じて様々な面で貴重な経験をすることができました。これを競技生活だけでなく、その後の人生の中でも宝物として活かして行って欲しいと思います。

世界レスリング選手権大会

10月20日から28日までの9日間、ブダペスト(ブダペスト)で開催された2018年世界レスリング選手権大会に、修了生5名出場し3個の金メダルを獲得しました。今回大会、日本選手が獲得した金メダルの内の60%に当たる快挙です。

【金メダル獲得者】

- 乙黒 拓斗(山梨学院大2年) 男子フリースタイル65kg級
※ 日本人史上最年少(19歳10か月)優勝
- 須崎 優衣(早稲田大1年) 女子50kg級
※ 昨年に続いての二連覇
- 向田 真優(至学館大3年) 女子55kg級
※ 一昨年の53kg級に続いての優勝

国民体育大会

第73回国民体育大会(福井しあわせ国体)が9月下旬から10月上旬にかけて福井県で開催され、JOCエリートアカデミーからは5競技13名が出場しました。主な競技成績は次のとおりです。

競技	種目	氏名	出場都県	競技成績
レスリング	少年男子70kg級	佐藤 匡記	東京都	2位
卓球	少年男子団体	宇田 幸矢	東京都	5位
	少年女子団体	長崎 美柚	神奈川県	5位
水泳/飛込	少年男子高飛込	遠藤 拓人	宮城県	4位
ライフル射撃	少年男子エアライフル	大塩 勇斗	福井県	3位
	少年女子エアライフル	井浦 一希	福岡県	6位
	少年女子ビームピストル	佐藤 琳	山形県	2位
アーチェリー	少年男子団体	伊藤 魁晟	広島県	優勝
	少年女子団体	渡邊 麻央	静岡県	2位

稲付中学校合唱コンクール

10月27日、第41回稲付中合唱コンクールが「史上最響(しじょうさいきょう)」をスローガンに赤羽会館で開催されました。それぞれのクラスが、課題曲と自由曲を合唱しました。どのクラスもそれまでの練習などを思い出しながら懸命に歌っている姿は立派でした。金賞を受賞したクラスは次のとおりです。

- ・1年の部 1組(ガレダギ君、小塩さん)
- ・2年の部 2組
- ・3年の部 1組

合唱コンクールで金賞を受賞した1年生2名の感想は以下のとおりです。

○小塩遥菜さん

「この合唱コンクールを通して思ったことは、団結力と朝・昼・放課後の練習で積み上げた努力はすごい大きな実になるんだということです。この成果を自分の競技にも結び付け、大会で優勝できるよう頑張っていきます。」

○ガレダギ敬一君

「合唱コンクールを通して、一人一人がベストを尽くしてみんなの心が1つにまとまるときに初めて感動を与えることができるのだと知りました。来年も全員が心を1つにできるように僕も協力し、金賞を取りたいです。」

公益財団法人 日本オリンピック委員会

JOCエリートアカデミー事業



〒115-0056 東京都北区西が丘3-15-1

味の素ナショナルトレーニングセンター

TEL:03(5963)0355/FAX:03(5963)0356

JOCエリートアカデミーだよりは以下のHPでもご覧いただけます。

<http://www.joc.or.jp/training/ntc/eliteacademy>